

ハンディキャップ体験学習

(1) 体験内容

① 高齢者疑似体験、アイマスク体験、車いす体験



1クラス毎に1時間の体験学習の時間が必要となります。
 体験だけで終わらない福祉学習とするために、学年全体で
事前学習(社協職員が講師)合計**2時間**の確保をお願いします。
 時間、内容、進め方については相談の上、決定します。

	目的	小学生	中学生以上
<p>高齢者疑似体験</p>  <p>高齢化による身体の老化現象を疑似体験することで、身体的不自由さや高齢者の気持ちに寄り添い、高齢者の取り巻く環境を心身ともに学びます。</p> <p>体育館での体験となります。2人1組のペアとなり、高齢者の身体的体験と高齢者がどんな時に困るのかお手伝いをしながら、気づきが得られる体験になります。</p>	<p>×</p> <p>○</p>		
<p>アイマスク体験</p>  <p>目が見えない方へのガイドの仕方や、どのような声掛けをしたらよいのかを学びます。</p> <p>体育館での体験となります。2人1組のペアで階段や細い道のガイド方法など基本的なことを学びます。ユニバーサルデザインやクロックポジションについても紹介します。</p>	<p>○</p> <p>(3年生以上)</p> <p>○</p>		

<p>車いす体験</p>	<p>車いすの仕組みや簡単な介助の方法を体験することで、車いすを使って生活している人がどうしたら安心して車いすに乗ることが出来るのかを学びます。</p>  <p>体育館での体験となります。2人1組のペアで車いすの操作を実際に体験します。</p>	<p>○ (5年生以上)</p>	<p>○</p>
---------------------	--	----------------------	----------

② 手話体験、福祉講話

学年全体で1時間の授業時間の確保と、広い部屋、マイク（手話の場合、ピンマイクあれば尚可）の準備をお願いします。手話の打合せは、社協と講師、それぞれで必要となります。対応をお願いします。

<p>手話体験</p>	<p>当事者の紹介を交えながら簡単な手話を学びます。</p>  <p>手話をつかって会話をする場面に実際に触れることで、コミュニケーションは、音声だけでなく様々な方法があることを知ることができます。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>福祉講話</p>	<p>実体験をもとにした、福祉に関する講話を聞くことで「障がいのある人」と「障がいのない人」の垣根のない社会を考えます。</p> 	<p>○</p>	<p>○</p>

③ ボランティア講話

社協職員が講師となります。**学年全体で1時間**の授業時間の確保と、広い部屋、マイクの準備をお願いします。

ワークの時間があります。それぞれ筆記用具が必要です。

<p>ボランティア 講話</p>	<p>豊かな地域社会づくりを目指し、自分にできることは何かを自分で考え、行動する「ボランティア」について学びます。</p> 	<p>○ (5年生以上)</p>	<p>○</p>
-----------------------------	--	----------------------	----------

(2) 体験する際の注意点(講話・手話体験以外)

- ①中学生・高校生は学校の体操服・ジャージ、体育館シューズで体験を行ってください。
- ②小学生の車いす体験、アイマスク体験では動きやすい服装、体育館シューズで体験を行ってください。
- ③体験学習時に写真を撮らせていただきます。都合が悪い場合は事前にご相談ください。



ハンディキャップ体験学習申込み方法

ステップ1 「福祉(ハンディキャップ)体験学習申込書」の提出

申込書は延岡市社会福祉協議会のHPよりダウンロード
できます。日程は第2希望までご記入の上、実施希望日
の**1ヶ月前**までに申込みをお願いします。

ステップ2 社協からボランティア（講師等）に協力依頼

ステップ3 実施可否を学校へ回答

ボランティアの確保が難しい場合、お断りする事があり
ます。

ステップ4 打合せ

社協から体験学習について準備物等のFAXを送ります。
ご確認の上、社協へご連絡をお願いいたします。

ステップ5 事前準備

高齢者疑似体験・車いす体験は、学習前に用具を取りに
来ていただく必要があります。

ステップ6 当日



※どのような体験学習を行ったらよいかお悩みでしたら、
まずは一度、延岡市社会福祉協議会へご相談ください。

TEL:32-6555 FAX:35-5863